

## 第4学年1組 国語科学習指導案

第4学年1組 27名

授業者 松本 悠

### 1 単元名 「アップとルーズで伝える」(光村図書)

### 2 単元目標

- ・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。 【知識及び技能】
- ・段落の役割について理解することができる。 【知識及び技能】
- ・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】
- ・考えとそれを支える理由や事例との関係などを捉えることに積極的に取り組み、学習課題に沿って自分の考えを發表しようとするすることができる。また、伝えるための表現方法を知ることによって、より分かりやすく表現しようとする。 【学びに向かう力, 人間性等】

### 3 指導に当たって

#### 【児童観】

本学級の児童は、男女仲が良く外で元気に活動する児童が多いが、短い休み時間等には読書をする姿も多く見られ、読書好きな児童が多い。また、ペア活動や話し合い活動を通じた体験的な学習に意欲的で生活の中での発見を学習につなげることのできる児童もいる。児童はこれまで、国語科の「すがたをかえる大豆」の単元で、中心となる語や文を捉え、段落どうしの関係を考えながら読んだり、写真と文章を対応させて読んだりする学習を行っている。さらに、「大きな力を出す／動いて考えてまた動く」では、事実と考えを読み分け、段落どうしの関係を考え、学習を深めてきた。しかし、説明文になると苦手意識をもつ児童が多くいるのが現状である。また、児童が書いた日記などを見ても段落がなく出来事を順に書いているだけの児童も多く、文章全体の構成や段落相互の関係を理解したり対比する事例等を提示して意見を書いたりする力は十分に身につけていない。

#### 【教材観】

本単元では写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成を捉えていく学習をする。テレビは児童にとって最も身近なメディアである。普段テレビを通してさまざまな情報を取り入れているが、その映像や写真は送り手の意図や目的によって編集された物である。しかし、そのことに気づいている児童は少数であると思われる。メディアを通して受け取っている情報は、制作者の意図に基づいて取捨選択されたものであることに気づかせ、相対化する視点をもつことができる教材である。また、新聞は記事と対応した写真が効果的に使われ、「アップとルーズで伝える」ことよさを捉えるのに適している。

## 【指導観】

本単元では、写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成を捉えることを行う。まず、それぞれの写真を説明する段落を見つけさせ、段落同士が対比関係になっていることだけでなく、段落の中でも対比が用いられていることに気づかせたい。本単元は、次単元「『クラブ活動リーフレット』を作ろう」と密接に関係する。今回は、本単元で学習した説明の仕方の工夫を活かして、新聞記事から伝えたい写真や記事を選び「防災リーフレット」を作成させ自分の意見を発信させたい。また、教室に関連図書コーナーを設置し、新聞（小学生新聞）や説明文の本がいつでも読めるようにする。普段あまりじっくりと読むことのない新聞記事や説明文図書にふれることで本単元に向けて意欲的に学習を進めていくことができるように学習環境を整えたい。

## 4 観点別の評価規準

### 【知識・技能】

- ・段落の関係を理解している。
- ・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解している。

### 【思考・判断・表現】

- ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。
- ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
- ・考えとそれを支える理由や事例との関係などを捉えることに積極的に取り組み、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。

## 5 単元計画(全8時間)

- 第1次 全文を読み、初めの感想を書こう。 [1時間]
- 第2次 第一から第三段落を読み、筆者が「何を」「どのように」説明しているのか考えよう。 [1時間]
- 第四から第六段落を読み、筆者が「何を」「どのように」説明しているのか考えよう。 [1時間]
- それぞれの段落の役割を考えよう。 [2時間]
- 筆者の説明のしかたの工夫を考えよう。 [1時間]
- 第3次 新聞でのアップとルーズの使われ方から、その良さを考えよう。 [2時間 本時]

## 6 本時の目標

新聞での「アップ」と「ルーズ」の使われ方を対比することにより、両者から説明するうえでの良さを考えることができる。

## 7 防災の視点 (※)

新聞記事(写真)から被害情報などの防災関連情報を集め、災害の恐さや生活への影響に気づくこと

ができる。(B)

8 本時の展開 (7/8) 準備物：ワーク・小学生新聞・各紙の新聞

学習活動	指導上の留意点 (○)・防災の視点 (※)
1 めあてを確認する。	○前時までの学習をふり返り、本時のめあてを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">新聞記事で「アップとルーズで伝える」ことのよさは何だろう。</div>	
2 新聞記事（小学生新聞）の2枚の写真からわかることを発表する。 ・氾濫した川の写真（ルーズ） ・空港ターミナルの写真（アップ）	○2枚の写真を提示し、それぞれがアップかルーズかを確認させる。(対比) ○写真からわかることを読み取らせる。 ※災害時の新聞記事（写真）から、災害の恐さや日常生活に及ぼす影響に気づくことができる。
3 「アップ」と「ルーズ」をどのように対比しながら説明しているかを考える。	○段落と写真の対応関係を考えさせる。 ○子ども新聞(一面)を教師が範読し、それぞれの写真を説明している文章を探させ、線を引かせる。(㊸ルーズ、㊹アップ)
4 「アップ」と「ルーズ」を対比して説明することのよさについて考え話し合う。	○線を引いたところを発表させ、それぞれの写真と記事の文章の対応関係をおさえ対比させることで、記事の内容がより分かりやすく伝わることに気づかせる。 ○記者は、それぞれの写真を使って何を伝えたかったのかを考えさせる。
5 ふり返りをする。	○ワークに分かったことや気づいたことを書かせる。 ○次時の課題（写真に題名をつける）を知らせ、「災害リーフレット」作りへの意欲を持たせる。

9 本時の評価

新聞での「アップ」と「ルーズ」の使われ方から、説明するうえでの良さを考えることができたか。